

研究所だより
36号 2019.12. 24

せんじょうち

発行/編集
黒部川扇状地研究所
Tel/fax: 0765-72-0013
E-mail: senjochi@ma.mrr.jp

ジオカフェ IN 入善

12月18日



標高の高い自然の中での素朴な暮らし。化学肥料は使わず家畜の糞など持続的環境保全型農業を営む生活。家畜の肉、乳製品、豆などの一見貧乏そうな生活が世界的な長寿生活を支えている。幸せの在り方や食料問題が問われる内容でした。

立山黒部ジオパーク協会主催。地域の自然を知ること興味関心を高めてもらうことを目的とした事業です。その名の通り、会場はカフェや喫茶店などの店です。呉東の市町村を毎月、順に巡り、12月は入善町のうるおい館1F「TREE」が会場になりました。ジオカフェは平日開催です。

開始時刻 19時～21時

（夕食タイム後、スピーカーの話、質疑応答、時刻厳守で解散）

水嶋所長がスピーカーで「パキスタン北部地区の扇状地と人々の暮らし」について話されました。11月魚津市は「蜃気楼は一年中見える」ことを教わりました。毎月開催。立山黒部ジオパーク協会HPやフェイスブックで確認。

県外の会員さんから、お便りが届いています



黒部川扇状地研究所の会員は150名余りで、そのほとんどは県内の在住（呉東）です。県外の会員さんは、約4%います。郷土出身者の方が多く、そのほとんどが関東地方に住んでいます。年に何度か研究例会に参加して下さる方やメール、電話、手紙等で郷土出身者の会の様子や活躍を連絡くださる方がいます。どの方も研究所に信頼を寄せ、存在意義を理解し、研究所の発展を願い、応援してくださっているのだからありがたい存在です。そんな方々からお寄せいただいたお便りの一端を紹介します。（会員内訳概算）入善町73%、近隣市町15%、その他県内8%、県外4%